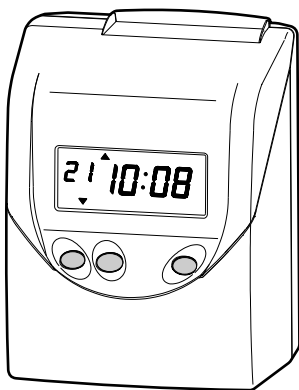
タイムレコーダー

QR-340

取扱説明書

（保証書付）

SEIKO

はじめに

　このたびは、弊社タイムレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。タイムレコーダーを安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書を、必ずお読みください。またお読みになった後は、いつでもお使いいただけるように大切に保管してください。

1. 本書の内容につきましては、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
2. 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、万一お気づきの点、ご不明の点などがありましたら、ご購入の販売店または弊社までお問い合わせください。
3. 運用に際しましては、本書の内容を十分に理解いただいた上でご活用ください。
4. お客様が本機を運用された結果の影響につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。
5. 本書の内容の一部のあるいは全部を、無断で複写することは禁止されております。

特長

★使い方はとってもカンタン！

「◀」や「▶」ボタンを押して欄を選んで、タイムカードを入れれば、自動で印字します。

★一日4回印字ができます！

★徹夜勤務にも対応　24時間営業にピッタリ！

★パスワード機能つきなので、不正な改ざんを防げます。

★印字パターンは4種類から選べます。

★自動サマータイム機能も搭載しています。

★印字欄移動時刻を設定すれば、自動で印字欄を移動できます。

セイコープレシジョン株式会社

本　　社：〒275-8558 千葉県習志野市茜浜1-1-1

お問合せ先：フリーダイヤル 0120-132030

受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00

（土･日･祝祭日･弊社休業日を除く）

Copyright © 2012 SEIKO PRECISION INC.　　Q0146-61200

安全に正しくお使いいただくために

本書は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項を示しています。

絵表示について

本製品の取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電する「危険」があることを示します。		この表示は、必ず実行していただきたい内容を示しています。
	この表示は、分解してはいけないという、「禁止」を示しています。		この表示は、必ず電源プラグをコンセントから抜いていただきたいことを示しています。
	この表示は、してはいけない、「禁止」行為であることを示します。		

警告

	この機器を分解しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
	この機器を改造しないでください。 火災、感電のおそれがあります。
	万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

この機器の上に水などの入った容器または金属物をおかないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。
（必ずプラグを持って抜いてください。）
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

印字ヘッド部分には、触れないよう、ご注意ください。
けが、火傷の原因となることがあります。

電源プラグは奥まで確実に挿入してください。
火災、感電の原因となることがあります

タイムカードの挿入口には指定のタイムカード以外は差し込んだり、落としたりしないでください。
火災、感電の原因となることがあります。

万一、この機器を落としたり、ケースを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

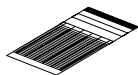
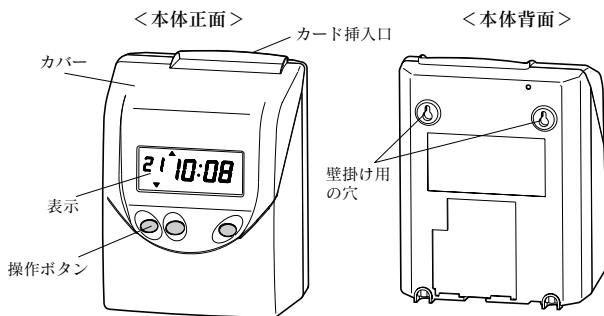
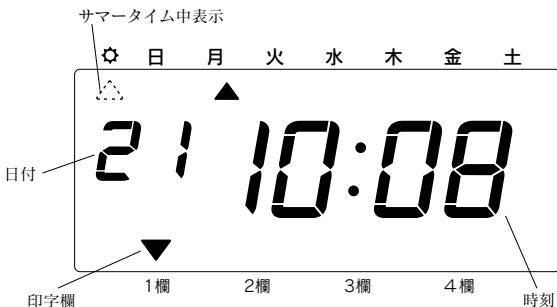
本機器は、容易に電源プラグを抜くことが可能なところでご使用ください。
万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合に、すぐに電源プラグをコンセントから抜くことができないと、火災、感電の原因となることがあります。

日頃のお手入れについて

ケースが汚れたときは電源プラグをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

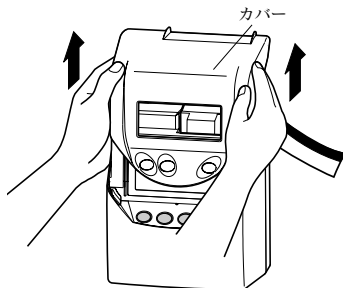
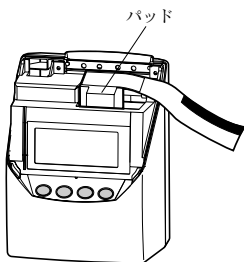
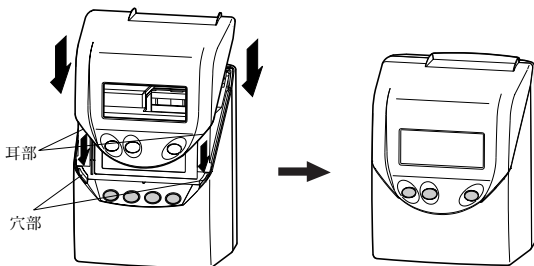
ご使用になる前に

付属品をお確かめください

壁掛け取り付けネジ2本　　取扱説明書（本書）　　タイムカード（SEIKO Cカード）1枚

各部の名称

＜表示＞

タイムレコーダー内部のパッドを外してください

タイムレコーダー内部には、輸送時の振動などから製品を保護するためのパッドが入っています。

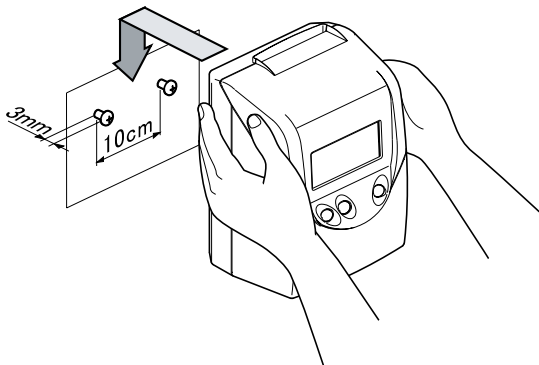
電源を入れる前に必ずパッドをタイムレコーダーから抜いてください。

ご使用時、パッドは不要です。

1. "カバー"の左右を2ヵ所を持ち、上に引き上げます。
2. "パッド"を抜きます。

3. "カバー"の下部両側の"耳部"を本体の"穴部"に真上から差し込みます。

壁掛けの方法

付属のネジを使って、タイムレコーダーを壁に掛けることができます。壁に掛けて使用する場合には、次のようにしてください。

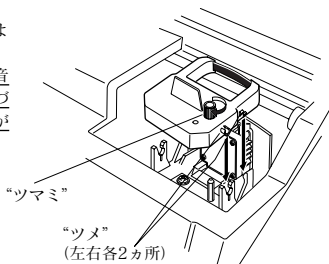
1. 付属の壁掛け取り付けネジ2本を、横10cmの間隔で壁に取り付けます。このときネジの頭を3mmほど出して、取り付けてください。

2. タイムレコーダー背面の壁掛け用の穴を使って、ネジに引っかけます。

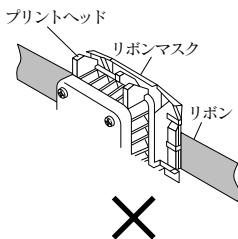
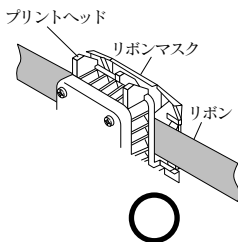
> ❗ 同梱されているネジは木造の厚い壁や木の柱でご使用されることを前提としており、それ以外の条件の場所ではご使用にならないようにしてください。タイムレコーダーが落下してお客様がケガをされたり、また本体の故障の原因となるおそれがあります。

設置について

次のような場所でのご使用は避けてください。

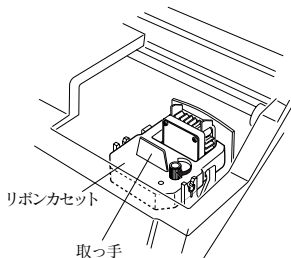
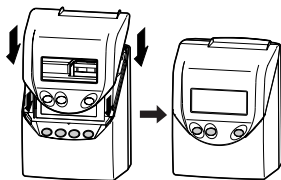
●湿気やほこりの多い場所
●直射日光のあたる場所
●振動の激しい場所または常時振動が発生する場所
●気温が−5℃以下や、45℃以上の場所
●化学薬品やオゾンなどの影響をうける場所

❺ “リボンカセット”を本体に図のように装着します。
左右2ヵ所の“ツメ”がパチッと音がするまで押し込みます。入れづらいときには“ツマミ”を回しながら入れてください。

❻ リボンカセット交換時のご注意

新しいリボンカセットを入れるときには、次のことに注意してください。
下図のようにリボンが、**プリントヘッドとリボンマスクの間に入るようにリボンカセットを入れてください。(左側の図)**
リボンをリボンマスクの奥側にいれてしまうと、正常に印字できません。(右側の図)

○ ×

❼ 装着した“リボンカセット”の“ツマミ”を矢印の方向に回して、リボンのたるみをとります。

リボンカセット

取っ手

❽ “カバー”の下部両側の“耳部”を本体の“穴部”に真上から差し込みます。

日常の操作

時刻や締日などタイムレコーダーが動作するために必要な事柄は、あらかじめ設定してありますのでパッドを外した後**電源を入れてすぐお使いいただけます。**

前述の「ご使用になる前に」を必ずお読みください。

タイムレコーダーの使い方はきわめて簡単です。タイムカードを挿入していただきますと、カードは本体に自動引込みされ、印字後排出されます。

カード挿入口にクリップ等の金属は絶対に入れないでください。また、カードを無理に押し込まないでください。故障の原因となる恐れがあります。

そのままの状態ですぐにお使いいただけますが、締日などが実際にご使用いただく場合と異なるときには、後述の「設定のしかた」をご参照ください。

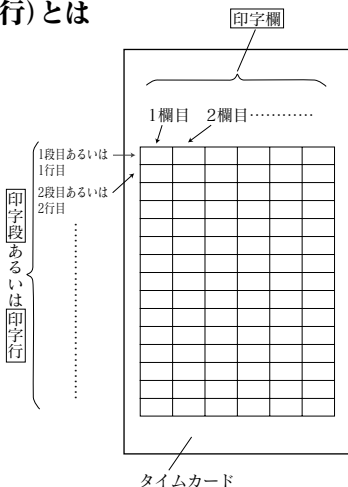
印字欄、印字段(印字行)とは

印字欄とは……

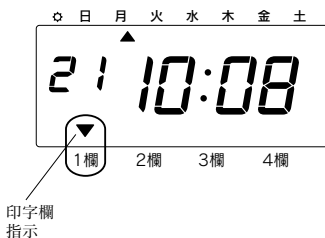
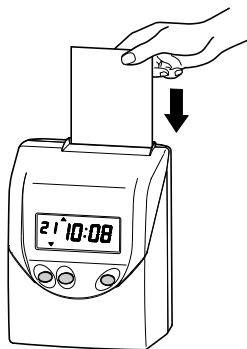
印字欄とはタイムカードの横方向の印字するマス目のことを言います。
通常、左のマス目より1欄目、2欄目……と呼び、1日の中で、出勤や退勤などの印字をする位置を変えたい場合に利用します。

本製品は1〜4欄目まで印字することができます。

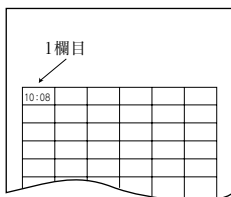
印字段あるいは印字行とは……

印字段(行)とは、タイムカードの縦方向の印字するマス目のことを言います。
通常、上のマス目より1段目、2段目……あるいは1行目、2行目……と呼び、日が変わると1つ下の段(行)に印字します。

表示されている印字欄に印字します

タイムレコーダーは表示の印字欄指示の“▼”が指している位置(印字欄)に印字します。

例 : 1欄目に印字する場合

❶ 表示の印字欄指示の“▼”がいちばん左の“1欄”のところにあることを確認します。

❷ タイムカードをカード挿入口にかるく入れます。カードは自動的にタイムレコーダーに引き込まれます。

印字後、自動的にカードはタイムレコーダーから上がってきます。

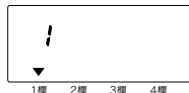
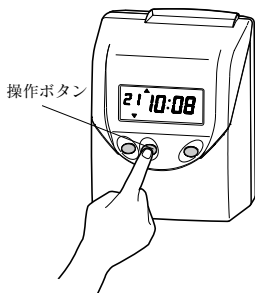
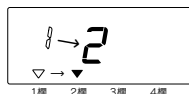
通常、タイムカードは青い面よりご使用ください。

❸ 1欄目に印字されます。

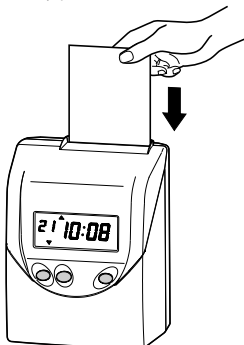
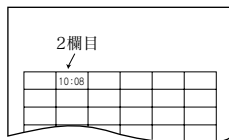
タイムレコーダーは1日に4回(4欄分)印字することができます。

打ちたい印字欄を変えるには

印字欄を変更する場合は、“操作ボタン”を押してからタイムカードを入れます。

例 ：1欄目から2欄目に印字位置を変えて打つ場合

❶ 左から2番目の操作ボタン“▶”を押します。すると、右図のように、今、選択されている欄が表示されます。

❷ もう一度、操作ボタン“▶”を押すと、「数字と▼」の表示が下図のようになり、2欄が選択されます。

しばらくすると、時計表示に戻りますが、選択した欄は“▼”で確認できます。

❸ タイムカードをカード挿入口に入れます。

❹ 2欄目に印字されます。

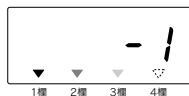
以降次の印字段切換時刻までは、操作ボタンで変えないかぎり、2欄目に印字します。
印字段切換時刻は「印字段切換時刻の設定の項ををご参照ください。

ボタン操作なしに印字欄を変えるには“印字段移動時刻の設定”の項をご参照ください。

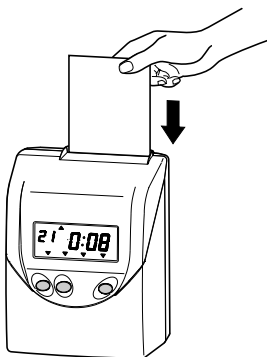
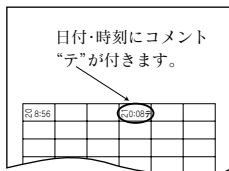
徹夜印字をするには

徹夜印字をする場合は、“徹夜ボタン”を押してからタイムカードを入れます。
前日の段の4欄目に“テ”コメント付きで印字されます。

❶ 徹夜ボタンを押します。

❷ すると、下図のような表示となり、“▼”が左から右に流れるように表示されます。

しばらくすると時計表示に戻りますが、“▼”が流れるように表示されている間は、徹夜印字ができます。

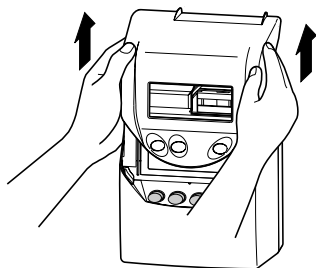
“▼”表示が流れてる間に、徹夜印字をしてください。

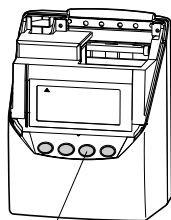
❸ タイムカードをカード挿入口に入れます。

❹ 印字は前日の段の4欄目に“テ”コメント付きで印字されます。

設定のしかた

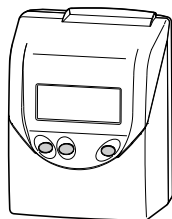
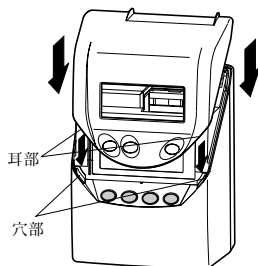
設定の準備

締日や時刻などを設定する前に、“カバー”を外して設定できる状態にします。

> ❗ 設定する時は、電源プラグをコンセントにさしこみ通電した状態で行ってください。

❶ “カバー”の左右2ヵ所を持ち上に引き上げます。

❷ 設定開始/終了ボタンを押すと、下図の表示のように“▲”のみが表示され、設定モードになります。
“表示”を見ながら“操作ボタン”を使うことにより設定ができます。

> 各設定の詳細については
> 以降をご覧ください。

設定開始/終了ボタン

❸ 設定終了後は“カバー”の下部両側の“耳部”を、本体の“穴部”に真上から差し込みます。

設定時の操作ボタン

設定時は、表示画面下の操作ボタンが設定用のボタンとなります。

設定モード

日付や時刻合わせ、また、締日や印字パターンなどを変えたい時に使用します。
設定開始/終了ボタンを押すと、左上に“▲”マークが表示され、設定モードとなります。
選択ボタンを押すと“▲”マークが移動しますので、時刻や日付などに合わせてから、セットボタンを押すと、設定が行えるようになります。
設定モードで設定できる項目は、以下のとおりとなります。

- 時刻の設定
- 日付の設定
- 締日の設定
- 印字パターンの設定
- 印字段切換時刻の設定
- 印字欄移動時刻（2欄）の設定
- 印字欄移動時刻（3欄）の設定
- 印字欄移動時刻（4欄）の設定
- サマータイム開始日の設定
- サマータイム終了日の設定
- パスワードの設定

時刻の設定

時刻を変更するときに設定してください。

❶ 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
表示の上側の“▲”が「時刻」に合います。そこでセットボタンを押します。
すると時刻が表示されます。

点滅している数字が変更できます。

❷ 例では“時”は10時のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。これで10時が設定できました。
このとき表示の点滅は“時”から“分”に移ります。
また、“秒”は“00”秒になります。

❸ 時刻の“分”を変更します。
(例８分→９分)
変更ボタンを押して、“09”分に合わせ、次にセットボタンを押します。(“秒”が進みだします)。これで9分が設定できました。

❹ 最後に設定開始/終了ボタンを押して、設定モードから通常のご使用状態に戻します。
「日付」「時刻」の表示になり、コロンが点滅しているのを確認してからカバーをつけてご使用ください。

日付の設定

日付を変更するときに設定してください。

例 2012年10月20日を同年同月21日に変更する場合

1 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の“▲”を「日付」に合わせ、セットボタンを押します。
すると日付が表示されます。
年は西暦下2桁で表示されます。

点滅している数字が変更できます。

2 例では“年”は2012のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。これで2012年が設定できました。このとき表示の点滅は“年”から“月”に移ります。

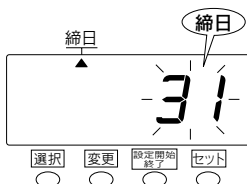
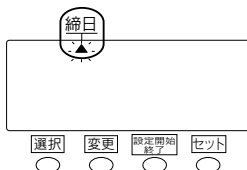
3 例では“月”は10月のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。
これで10月が設定できました。このとき表示の点滅は“月”から“日”に移ります。

4 “日”を変更します。
(例20日→21日)
変更ボタンを押して“21”日に合わせ次にセットボタンを押します。
これで21日が設定できました。このとき表示の“日”の点滅が点灯に変わり日付の変更設定が終了しました。最後に設定開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

締日の設定

工場出荷時の設定は月末締めになっています。締日が月末と15日以外の場合は締日を変更します。

大の月（31日）、小の月（30日、28日）によらず月末締めの場合は締日「31日」のままでご利用いただけます。
15日締めの場合には締日“31”にしてカードの赤い面よりご利用ください。

例　20日締めにする場合

設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の“▲”を「締日」に合わせ、セットボタンを押します。
すると締日が表示されます。

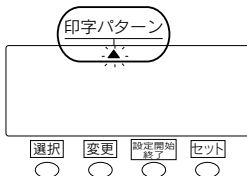
初期値は“31”になっています。

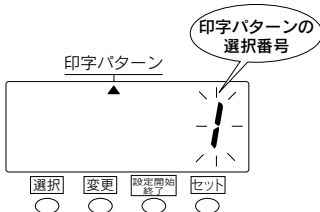
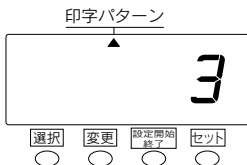
20日締めに変更します。
変更ボタンを押して、“20”日に合わせ、次にセットボタンを押します。
これで20日締めが設定できました。
このとき表示の点滅は点灯に変わります。
最後に設定開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

印字パターンの設定

タイムカードに印字するパターンは次の4種類の中から選択できます。

工場出荷時の設定は 日付＋時:分 になっています。

例　印字パターン 日付＋時:分 を 時:分(大きな印字) に変更する場合

❶ 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の“▲”を「印字パターン」に合わせ、セットボタンを押します。
すると印字パターンが表示されます。

初期値は選択番号“1”の日付＋時:分になっていいます。

❷ 印字パターンを“時:分(大きな印字)”に変更します。
変更ボタンを押して、選択番号“3”の“時:分(大きな印字)”に合わせ、次にセットボタンを押します。
これで“時:分(大きな印字)”が設定できました。このとき表示の点滅は点灯に変わります。
最後に選択開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

印字段切換時刻の設定

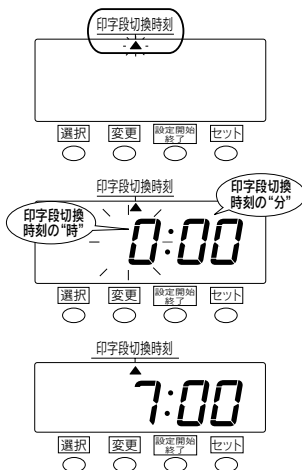
工場出荷時の設定は午前0時（0:00）になっています。

「印字段切換時刻」とは、タイムカードの印字の段が1段さがって次の日の段に切り換わる時刻のことです。夜勤などで午前０時を過ぎ日付が翌日に変わってから退勤する場合でも「印字段切換時刻」を設定することにより出勤、退勤の印字をカードの同じ段に打たせることができます。

例えば、夜勤をする人がある月の24日午後10時（22時）に出勤し翌日の25日午前6時に退勤する場合は、「印字段切換時刻」を午前６時以降に設定しておけば出勤、退勤が同じ段となります。以下にこの人を例に印字結果を示します。

●「印字段切換時刻」が工場出荷時設定の午前0時で、午前6時に退勤する場合
（「印字段切換時刻」が退勤時刻より前の場合）

●「印字段切換時刻」を午前7時（7:00）と設定し、午前6時に退勤する場合
（「印字段切換時刻」が退勤時刻より後に設定した場合）

例 印字段切換時刻 午前0時00分を午前7時00分に変更する場合

1 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の"▲"を「印字段切換時刻」に合わせ、セットボタンを押します。
すると印字段切換時刻が表示されます。

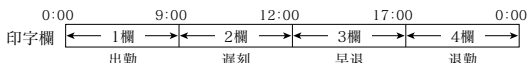
点滅している数字が変更できます。

2 7:00に設定します。
変更ボタンを押して、"7"時に合わせ、セットボタンを押します。このとき表示の点滅は"時"から"分"に移ります。"分" はそのままでいいので、もう一度セットボタンを押します。
これで印字段切換時刻の設定が終了しました。最後に設定開始/終了ボタンを押して、設定モードから通常のご使用状態に戻します。

印字欄移動時刻の設定

印字欄移動時刻は、印字する欄を、2欄や3欄または4欄へ移動させる時刻のことをいいます。この時刻を設定すると、決まった時刻（例えば昼休みの中抜けや退勤の時）に、ボタン操作をすることなく自動で切り換えることができます。
翌日の出勤（1欄）は、「印字段切換時刻」で設定した時刻に、自動で戻ります。

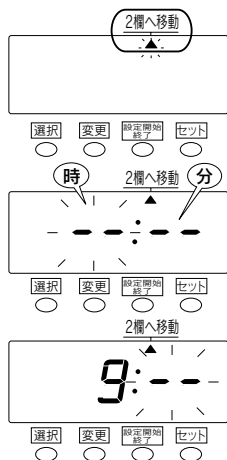
印字欄移動時刻は、工場出荷時に設定されていません。

●印字欄移動時刻をつかった、使用例について説明します。
ある会社は、9:00（始業）から17:00（退勤）までが就業時間であり、遅刻や早退は、印字欄を切り換えて見やすい印字をさせたい。

上図に合わせて、印字欄移動時刻の設定表を作成してみます。

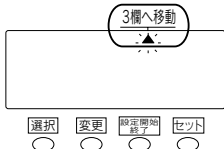
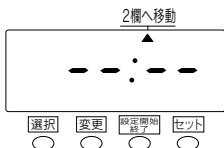
印字欄移動時刻	時　刻	意味合い
2欄へ移動	09:00～	9:00～12:00は、遅刻とみなし2欄へ印字
3欄へ移動	12:00～	12:00～17:00は、早退とみなし3欄へ印字
4欄へ移動	17:00～	17:00以降の印字は、退勤として4欄へ印字

出勤時の1欄は、「印字段切換時刻」で設定した時刻“0:00”となります。

例　印字欄移動時刻を設定する場合

上記の設定表にしたがって、設定の手順を説明します。

1 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の“▲”を「2欄へ移動」に合わせ、セットボタンを押します。
すると2欄へ移動するための欄移動時刻が表示されます。

工場出荷時は、設定されていないので“－－：－－”が表示されます。

2 **2欄の欄移動時刻を設定します。**
時刻の時を設定します。変更ボタンを押して、“9”時に合わせ、次にセットボタンを押します。
このとき表示の点滅は“時”から“分”に移ります。

3 時刻の"分"を設定します。変更ボタンを押して"00"に合わせ、次ぎにセットボタンを押します。
ここで表示が点滅から点灯に変わります。
3欄や4欄の欄移動時刻を設定しない場合は、これで終了です。
設定開始/終了ボタンを押して、通常のご使用状態に戻します。

引続き、3欄の欄移動時刻を設定します。選択ボタンを押して、表示の上側の"▲"を「3欄へ移動」に合わせ、セットボタンを押します。

4 **3欄の欄移動時刻を設定します。**
2欄の欄移動時刻の手順2〜3と同様に、変更ボタンとセットボタンを操作して、"12:00"を入力します。

引続き、4欄の欄移動時刻を設定します。選択ボタンを押して、表示の上側の"▲"を「4欄へ移動」に合わせ、セットボタンを押します。

5 **4欄の欄移動時刻を設定します。**
2欄の欄移動時刻の手順2〜3と同様に、変更ボタンとセットボタンを操作して、"17:00"を入力します。

これで設定は終了です。
設定開始/終了ボタンを押して、通常のご使用状態に戻します。

例 印字欄移動時刻を無効する場合

1 **2欄の欄移動時刻を無効にする場合**
設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の上側の"▲"を「2欄へ移動」に合わせ、セットボタンを押します。

2 欄移動時刻の時を変更ボタンを押して、"－－"時に合わせ、セットボタンを押します。
表示は左図のようになり、印字欄移動時刻は無効になります。

3欄と4欄の欄移動時刻も同様の手順で無効にすることができます。

サマータイムの設定

日本国内でサマータイムが導入されたときに設定してください。

タイムレコーダのサマータイム機能について

 サマータイムの実行時間

サマータイム開始日の午前2時になると自動的に時刻が1時間進み午前3時となり、サマータイム終了日午前2時になると自動的に時刻が1時間戻り午前1時となるようになっています。

2 **サマータイムの実行日**

例えば

開始日　2012年４月１日(日曜日)
終了日　2012年10月28日(日曜日)
と設定した場合、タイムレコーダーは開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と記憶します。一度設定していただければ翌年からのサマータイムの設定はタイムレコーダーが**自動的に**

開始日　４月の最初の日曜日
終了日　10月の最後の日曜日

と更新しますので、**その後の設定は不要です。**

工場出荷時は、サマータイム開始日、サマータイム終了日の設定はされていません。

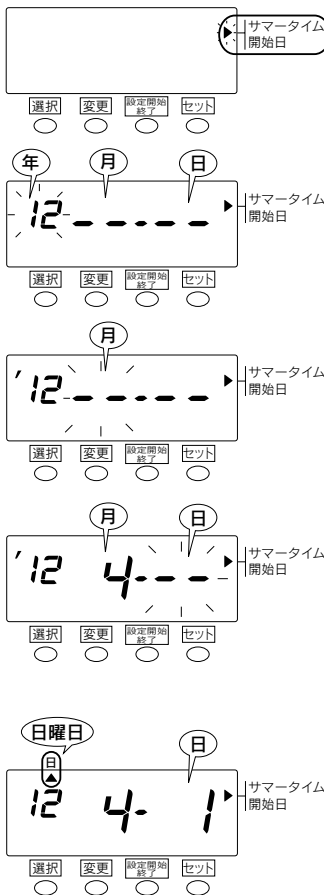
サマータイムの設定は、その年の開始日と終了日の月日を入力することにより行います。

次の例でサマータイムの設定方法を説明します。

例

今　日(現在日)　　2012年１月24日(火)
サマータイム開始日　2012年４月１日(日)＜４月最初の日曜日＞
サマータイム終了日　2012年10月28日(日)＜10月最後の日曜日＞

サマータイム開始日の設定

例　開始日：4月の最初の日曜日の場合
(2012年 4 月 1 日 の場合)

1 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の"▲"を右側の「サマータイム開始日」に合わせ、セットボタンを押します。
するとサマータイムの開始日が表示されます。

点滅している数字が変更できます。

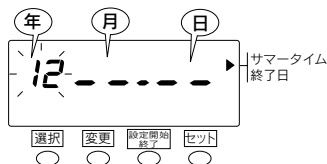
2 例では、"年"は2012年のまま変更しませんので、このままセットボタンを押します。このとき表示の点滅は"年"から"月"に移ります。

3 サマータイム開始の"月"を設定します。
変更ボタンを押して、"4"月に合わせ、次にセットボタンを押します。これで4月が設定できました。このとき表示の点滅は"月"から"日"に移ります。

4 サマータイム開始日の"日"を設定します。変更ボタンを押して"1"日に合わせ、次にセットボタンを押します。これで1日が設定できました。このとき表示の"日"の点滅が点灯に変わり日曜日の下に"▲"が点灯します。これでサマータイム開始日の設定が終了しました。
最後に設定開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

サマータイム終了日の設定

例　終了日：10月の最後の日曜日の場合
(2012年10月28日の場合)

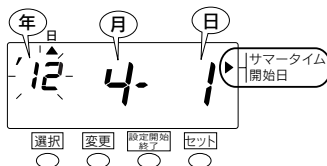
サマータイム開始日と同じ方法で設定します。

❶ 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の"▲"を右側の「サマータイム終了日」に合わせ、セットボタンを押します。

点滅している数字が変更できます。

❷ サマータイム開始日と同じ方法で終了日の年月日"'12 10-28"を設定します。

サマータイムを取り消す場合

一度設定されたサマータイムを取り消す場合は"サマータイム開始日"の"月"の表示を"--"とすることによりサマータイムは無効になります。

例　"サマータイム開始日"の2012年4月1日(日)を変更し
サマータイムを取り消す場合

❶ 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の"▲"を右側の「サマータイム開始日」に合わせ、セットボタンを押します。

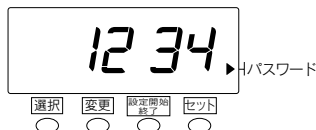
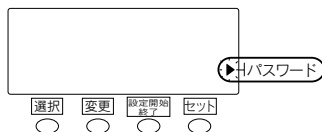
❷ "月"を" --"に合わせセットボタンを押してください。
表示は左図のようになり、サマータイムは無効になります。

パスワードの設定

改ざん目的などの故意の時間修正や設定の変更を防止するため4桁のパスワードを設定できます。

■パスワードは“0001”～“9998”までの数字で設定してください。
“0000”及び“9999”は設定できません。

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻修正や設定を変更できません。パスワードは忘れないように管理してください。

例　パスワードを“1234”に変更する場合

❶ 設定開始/終了ボタンを押して、設定モードにします。
選択ボタンを押して、表示の“▲”を右側の「パスワード」に合わせ、セットボタンを押します。
すると左図の様に表示され、上“2桁”の“00”の表示部が点滅します。

工場出荷時は、“パスワード”が設定されていないので、“00”が表示されます。

❷ パスワードの“上2桁”を設定します。
変更ボタンを押して“上2桁”を“12”に合わせ、次にセットボタンを押します。このとき表示の点滅は“上2桁”から“下2桁”に移ります。

❸ パスワードの“下2桁”を設定します。
変更ボタンを押して“下2桁”を“34”に合わせ、次にセットボタンを押します。このとき表示の点滅は点灯に変わります。

❹ 最後に設定開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

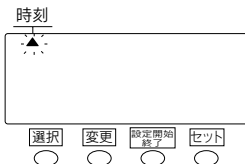
●パスワードを設定した後に各種設定項目を変更するには

パスワードを設定した場合は、パスワードを入力しないと、時刻修正や各種設定を変更できません。パスワードは忘れないように管理してください。

例　パスワードが“1234”の場合

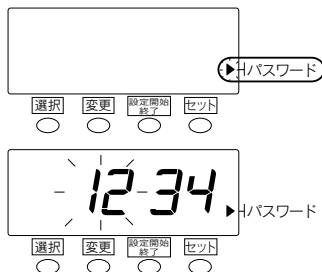
❶ 設定開始/終了ボタンを押します。
“9999”が表示され、上2桁が点滅します。

❷ 変更ボタンを押して、設定したパスワードの上2桁(ここでは“12”)に合わせ、セットボタンを押します。このとき、表示の点滅はパスワードの下2桁に移ります。

❸ 変更ボタンを押して、設定したパスワードの下2桁(ここでは“34”)に合わせ、セットボタンを押します。

❹ これにより、設定モードとなり、左図のように“▲”のみ表示されます。
すると選択ボタンで設定項目が選択できるようになり、時刻や日付などの設定変更が可能となります。

パスワードの設定を解除するには

パスワードを忘れてしまった場合は「リセット」を行ってください。
なお、リセットを行うと各設定項目は初期設定に戻りますので、あらためて設定しなおしてください。日付や時刻も設定しなおしてください。

例　パスワードを"1234"を解除する場合

❶ 設定開始/終了ボタンを押します。
"9999"が表示されるので、「パスワードを設定した後に各種設定項目を変更するには」に従って、パスワードを入力します。
選択ボタンを押して、表示の"▲"を右側の「パスワード」に合わせ、セットボタンを押します。
すると左図の様に表示され、"上2桁"の"12"の表示が点滅します。

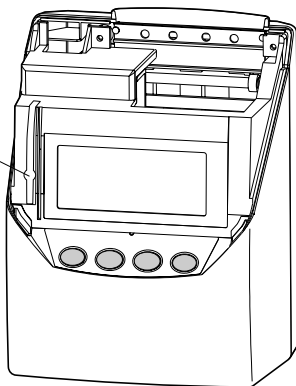
❷ パスワードの"上2桁"の設定をします。
変更ボタンを押して"上2桁"を"00"に合わせ、次にセットボタンを押します。このとき表示の点滅は"00"から"34"に移ります。

❸ 変更ボタンを押して"下2桁"を"00"に合わせ、次にセットボタンを押します。このとき表示の点滅は点灯に変わります。

❹ 最後に設定開始/終了ボタンを押して設定モードから通常のご使用状態に戻します。

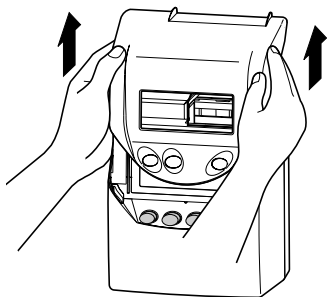
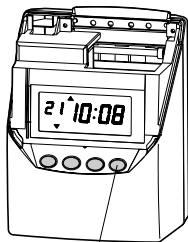
リセットについて

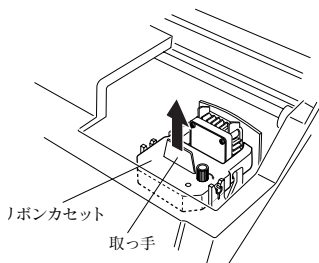
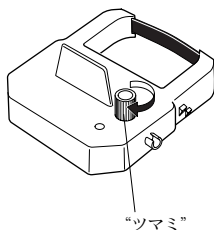
すべての設定を初期の状態（工場出荷時の状態）に戻したいときには、先の細いものでリセットスイッチを押してください。

リセットすることにより、お客様が設定した内容は消えてしまいます（初期の状態に戻ります）ので注意してください。
設定をしなおす場合には「設定のしかた」をご参照ください。

リボンカセットの交換

! 必ず電源を入れた状態で行ってください。

印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。あらかじめ装着されているリボンカセットは工場出荷時の機能検査用です。ご使用時一部うすく印字される場合がありますのでご了承ください。

1 “カバー”の左右2ヵ所を持ち、上に引き上げます。

2
セットボタンを3秒間押して、“リボンカセット”を取り外せる位置に移動させます。

3秒間押す

3 古い“リボンカセット”の取っ手を持ちカセットを上に引き上げます。

4 新しい“リボンカセット”の“ツマミ”を矢印の方向に回して、リボンのたるみをとります。

こんなときには

エラー番号が表示されたら

以下を参照して正しい操作を行ってください。

番号	エラー内容	対策
E-00	正しく動きません。	販売店もしくは弊社までご連絡ください。
E-01	メモリー保持用リチウム電池の容量不足です。	
E-03	挿入したタイムカードの表裏が間違っています。	タイムカードの表裏を反対にして挿入してください。
E-04	カードが正しくありません。	弊社指定のCカードをご使用ください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。	タイムレコーダー内部にクリップ、付箋紙などの異物やタイムカードが詰まっていないか確認してください。また、リボンカセットがきちんとセットされているか確認してください。 確認が済みましたら、[セット]ボタンを押し続けてエラー解除を行ってください。 それでもエラー番号が表示される場合は、販売店もしくは弊社までご連絡ください。
E-15	タイムカードを検知することができません。	
E-30	印字ができません。	
E-37	タイムカードを正しく引き込むことができません。	
E-38	印字ができません。	
E-40	パスワードが間違っています。	パスワードを正しく入力してください。
E-41	サマータイムが正しく設定されていません。	サマータイムの開始日、または終了日の設定内容を確認して、正しい値を設定してください。
E-49	設定できない値を入力しています。	設定内容を確認して、正しい値を設定してください。

故障かなと思ったら

●全く動作しない

電源プラグはコンセントに正しく差し込んでありますか？

●印字しない

リボンカセットは正しく入っていますか？

●印字位置が合わない

締日、印字段切換時刻はあっていますか？

タイムカードが折れたり、曲がったりしていませんか？

回復しない場合にはご購入の販売店または弊社へご連絡ください。

仕様一覧

項目	仕様
時計精度	月差±15秒以内（常温）
カレンダー機能	～2099年　閏年、大小月、曜日は自動判定
印字方式	ドットインパクト方式
タイムカード	SEIKO　C、C-20、C-25、C-31カード（両面6欄）
メモリー保持機能	工場出荷時より停電累計時間3年間
プログラム	印字欄の自動切替
使用環境	温度：－5～45℃　湿度：20～80％Rh　結露なし 温度が5℃以下の場合には正常に動作しますが、印字濃度、液晶表示の反応は通常使用時に比べて劣ります。
外形寸法	幅160×高さ205×奥行き128mm
質　　量	約1.5kg
消費電力	待機時　約0.2W、　印字時　約8W

タイムカードは指定のCカードをご使用ください。特に折りたたみ方式などの特殊カードを使用しますと、機能障害が生じることがあります。

別売付属品および消耗品

●タイムカード

あらかじめ日付が印刷されたカードもあります。
締日に合わせてご利用ください。

締日	日付なし	20日締	25日締	月末／15日締
カード名	C	C-20	C-25	C-31

C-31は15日締めにも、締日の設定を“31”にしてカードの裏面（赤い面）よりご利用いただけます。

●リボンカセット

QR-340用リボンカセット（TP-1051SB）

●システムカードラック

CR-S10：10人用
CR-PL10：追加10人用

<本保証書は切取らずコピーしてお使いください。>

セイコータイムレコーダー保証書

QR-340 **No.** ____________

お買上げ日　　　　　　年　　月　　日

ご　住　所 ____________________

ご　氏　名 ____________________

お取扱店名及びご住所

印

このタイムレコーダーはSEIKOの高度の品質管理のもとに厳密な検査に合格しておりますことを保証いたします。
万一通常のお取扱いにおいて故障を生じた時はお買上げの日から１ヶ年間無償で機械を調整致しますので、この保証書をそえて販売店または弊社にご連絡ください。

セイコープレシジョン株式会社

本　　　社：〒275-8558 千葉県習志野市茜浜1-1-1
お問合せ先：☎0120-132030
受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00
（土･日･祝祭日･弊社休業日を除く）

――注意事項――

保証期間内でも次のような場合は無償調整が適用されませんのでご了承ください。

1. 誤ったご使用、不当な修理、改造による故障及び損傷。
2. 火災、地震など天災地変による故障及び損傷。
3. 移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
4. 異常電圧による故障及び損傷。
5. 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
6. 本保証書のご提示がない場合。

本保証書は日本国内のみ有効です。
THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN.